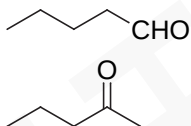


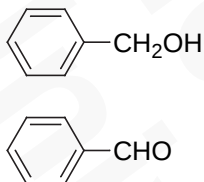
9.38

(a)



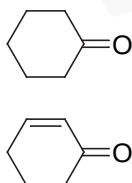
- $\text{CrO}_3\text{-H}_2\text{SO}_4$ 水溶液で酸化して、反応するほうがアルデヒド。
- 銀鏡反応に陽性のものがアルデヒド。
- Fehling反応に陽性のものがアルデヒド。

(b)



- フェニルヒドラジンと反応させて、ヒドラゾンができるのがアルデヒド。一般にヒドラゾンは結晶性がよく、結晶性誘導化反応としてよく用いられる。
- 還元剤 (NaBH_4 , LiAlH_4) と反応してアルコールになるものがアルデヒド。
- PCCで酸化して酸化されるほうがアルコール。

(c)



- 接触水素化反応で反応するものがシクロヘキセノン。
- 臭素と反応しやすいほうがシクロヘキセノン。